

1. 地域交通活性化事業について

第2世代交付金交付対象事業（まちを支え、地域をつなぐ持続可能な公共交通体系リ・デザインプロジェクト）として採択。

(1) デジタルサイネージの設置

古賀市地域公共交通計画に記載の「駅や主要停留所における待合環境の整備」として、市内5カ所にデジタルサイネージの設置を行う。

設置箇所（予定）：JR古賀駅、JRししぶ駅、コスモス館、青柳郵便局、米多比郵便局

(2) スマホ教室の開催

地域住民のデジタル活用支援として、スマホ教室を開催予定。

内容：AIオンデマンドバス「のるーと古賀」のアプリのインストール、予約方法など
60分×3日程度

(3) 道路交通混雑統計分析

通行分析と経路分析の二種類の交通分析を行い、渋滞しやすい道路の洗い出しや、要因の特定、通行止めやイベントでの影響を把握。

2. 古賀市公共交通利用環境整備支援金について

物価高騰に直面する市内公共交通の担い手である路線バス及びタクシー事業者に対して、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、公共交通の維持や利用促進に資する事業の業務効率化や省エネルギー化、車両や乗り場等の環境改善の取り組みに対して補助金を交付。

3. AIオンデマンドバス「のるーと古賀」MP移設について（MP33 美明1丁目21（南向き））

MP33 美明1丁目21（南向き）の裏の空き地が住宅開発により、住宅の車両出入口と重なるため、MPを15メートル程度移動するもの。現在調整中です。

